

人吉市立中学校制服の今後の方向性について

学校教育課

人吉市教育委員会では、一人ひとりの個性を尊重する多様性への配慮とあわせ、近年の気温の変化などを総合的に判断し、令和5年7月に学校関係者や保護者代表等を委員とした「人吉市中学校制服検討委員会」を立ち上げております。

これまで、本市中学生の今後の制服の在り方を含め、機能性、多様性、経済性などの観点から3回の議論を重ねてまいりました。

また、その間、制服取扱店との協議も重ねながら、小学校5年生以上の児童生徒及びその保護者を対象にアンケート調査を実施し、意識の把握にも努めました。

第3回制服検討委員会で協議した今後の方向性（案）を、10月11日（水）に市長、副市長へ報告、10月12日（木）の市内校長会で説明、11月27日（月）に人吉市議会へ報告をし、以下のとおり進めていくことで決定しましたのでご報告いたします。

記

1. 新制服の導入について

導入に際しては、児童生徒及び保護者の意見を十分に取り入れられる時間が必要。

また、制服取扱店の準備期間の確保のための配慮が必要である。

以上のことから、中学校新制服の導入時期は、令和7年4月（現小学校5年生が中学校入学時期）を目標とする。

2. 導入における配慮について

機能性、多様性、経済性などの諸課題並びに児童生徒、保護者の要望等にできる限り対応するため、以下のことに配慮しながら新しい制服の導入・選定をする。

■機能性への配慮

- ・近年の気温の上昇、空調機の導入による気温差に対応しやすく、また、様々な活動の支障にならない動きやすいデザイン、生地等とする。
- ・耐久性に優れ、洗濯やアイロンなど家庭でのケアがしやすい素材等を採用するとともに、生徒の成長に対応できる仕様とする。
- ・夏服を通気性のよいものにするなど猛暑に対応したものとする。

■多様性への配慮

- ・性別に関わらず、スラックスやスカート等を主体的に選択し、自由に組み合わせ可能であるブレザータイプまたはスーツタイプの人吉市内統一の標準服（人吉モデル）を導入する。

■経済性への配慮

- ・人吉市内統一の標準服（人吉モデル）とすることで、一定の数量を確保し、保護者の負担に配慮した価格設定を目指す。
- ・導入にあたっては、保護者の経済的負担を考慮し、旧制服から新制服（人吉モデル）への移行期間を設け、令和7年度と令和8年度は旧制服と新制服が混在する期間とし、令和9年度から全学年の生徒が新制服となるようにする。
- ・人吉市内の販売店で取り扱うことができるようにする。

■生徒への配慮

- ・性別に関わらず、スラックスやスカート等を主体的に選択し、自由に組み合わせることができるようにする。
- ・生徒の愛校心や仲間意識、連帯感を大切にするため、各学校の特色を出せるように差別化を図る。（学校によってネクタイやリボンの色を変えるなど）
- ・冬場はベストやカーディガンの着用についても検討し、生徒が気温や体調に応じて自主的に選択できるようにする。

■その他の配慮

- ・制服取扱店から新制服（人吉モデル）のデザイン提案の際に、児童生徒及び保護者の意見を参考にするためのアンケート調査を実施するか検討する。

【移行期間のイメージ】

	中学1年生	中学2年生	中学3年生
令和7年度（1年目）	新制服	<u>混在可</u>	<u>混在可</u>
令和8年度（2年目）	新制服	新制服	<u>混在可</u>
令和9年度（3年目）	新制服	新制服	新制服

■今後のスケジュール

- ・方向性の決定（10月）
- ・制服取扱店との協議（10月～11月）
- ・制服取扱店による新制服デザイン案の提示（12月）→ 選定
- ・児童生徒、保護者へのアンケート実施（R6. 1月～）
- ・制服の決定（R6. 3月）
- ・商品発注（R6. 6月）

（別紙）参考資料 人吉市中学生の制服検討に係るアンケート結果

令和5年9月8日～9月22日の期間で、小学5年生以上の児童生徒と保護者を対象に中学校の制服の見直しに係るアンケートを実施。